



2026年3月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2025年11月13日

上場会社名 日本曹達株式会社

上場取引所

東

コード番号 4041 URL <https://www.nippon-soda.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 阿賀 英司

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 片岸 豊信

TEL 03-6366-1920

半期報告書提出予定日 2025年11月14日

配当支払開始予定日

2025年12月4日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年4月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	67,069	0.0	7,053	0.3	9,742	16.5	6,793	7.0
2025年3月期中間期	67,079	2.6	7,077	9.6	8,364	10.0	6,346	15.8

(注)包括利益 2026年3月期中間期 12,560百万円 (189.6%) 2025年3月期中間期 4,337百万円 (72.1%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	124.10	—
2025年3月期中間期	115.24	—

(注)当社は、2024年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

1株当たり中間期純利益については、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	288,560	193,545	66.6
2025年3月期	288,097	188,102	64.8

(参考)自己資本 2026年3月期中間期 192,252百万円 2025年3月期 186,785百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	120.00	—	80.00	—
2026年3月期	—	70.00			
2026年3月期(予想)			—	70.00	140.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)当社は、2024年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

2025年3月期第2四半期末の1株当たり期末配当金については、当該株式分割前の金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。

なお、株式分割後の基準で換算した場合の2025年3月期第2四半期末の1株当たり配当金は60円となり、1株当たり年間配当金は140円となります。

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	148,000	4.6	13,200	17.8	16,800	14.0	13,300	11.4	241.47

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)				
期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期中間期	56,787,734 株	2025年3月期	56,787,734 株
期末自己株式数	2026年3月期中間期	2,520,508 株	2025年3月期	1,707,450 株
期中平均株式数(中間期)	2026年3月期中間期	54,743,145 株	2025年3月期中間期	55,073,844 株

(注) 当社は、2024年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。
期中平均株式数(中間期)については、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、算定しております。

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
3. 補足情報	11

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、経済活動の持ち直しの動きが見られたものの、海外景気の下振れ懸念や地政学的リスクの高まりなどにより、先行き不透明な状況が続きました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、長期経営ビジョン（2021年3月期～2030年3月期）および中期経営計画（2024年3月期～2026年3月期）を推進し、企業価値の向上に向けた諸施策に全力で取り組んでいます。

当中間連結会計期間は、アグリビジネスにおいて販売が増加したものの、プラント建設工事が減少したことなどにより、売上高は670億6千9百万円（前年同期並み）、営業利益は70億5千3百万円（前年同期並み）となりました。

経常利益は、持分法による投資利益が増加したことなどにより、97億4千2百万円（前年同期比16.5%増）となり、親会社株主に帰属する中間純利益は、67億9千3百万円（前年同期比7.0%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

なお、前連結会計年度より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

[ケミカルマテリアル]

エコケア製品や工業薬品は減少したものの、医薬品・工業用殺菌剤などが増加しました。また、前年度に計上した在庫評価益が減少しました。この結果、当中間期の売上高は179億4千2百万円（前年同期比1.1%増）、営業利益は31億6千1百万円（前年同期比8.1%減）となりました。

工業薬品は、塩化リンや青化ソーダ、およびカセイソーダが減少したことなどにより、減収となりました。

化成品は、非フェノール系感熱紙用顔色剤が増加したことなどにより、増収となりました。

機能材料は、樹脂添加剤「N I S S O - P B」が増加したことにより、増収となりました。

エコケア製品は、光触媒薬剤「ビストレイター」や水処理剤「日曹ハイクロン」が減少したことなどにより、減収となりました。

医薬品・工業用殺菌剤は、医薬品添加剤「N I S S O H P C」や医薬品原体が伸長したことなどにより、増収となりました。

[アグリビジネス]

流通在庫が概ね適正水準に戻ったことにより需要が回復し、殺菌剤や殺虫剤・殺ダニ剤などが増加しました。この結果、当中間期の売上高は192億5千4百万円（前年同期比15.1%増）、営業利益は17億8千4百万円（前年同期比71.2%増）となりました。

殺菌剤は、「トップジンM」や「ミギワ」の輸出向けが増加したことなどにより、増収となりました。

殺虫剤・殺ダニ剤は、殺ダニ剤「ダニオーテ」の輸出向けが減少したものの、殺虫剤「モスピラン」の輸出向けが伸長したことにより、増収となりました。

除草剤は「ナブ」が増加したことにより、増収となりました。

[トレーディング&ロジスティクス]

有機薬品の販売が減少したものの、樹脂原料などの販売が増加したことにより、当中間期の売上高は211億7千5百万円（前年同期比1.4%増）、営業利益は12億9千万円（前年同期並み）となりました。

[エンジニアリング]

プラント建設工事が減少したことにより、当中間期の売上高は43億9千万円（前年同期比37.8%減）、営業利益は7億6百万円（前年同期比24.3%減）となりました。

[エコソリューション]

非鉄金属が減少したことにより、当中間期の売上高は43億7百万円（前年同期比7.4%減）、営業利益は1億2千7百万円（前年同期比51.1%減）となりました。

（2）当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末の総資産は、受取手形、売掛金及び契約資産が168億1千8百万円減少したものの、持分法による投資利益の計上などにより投資有価証券が92億8千2百万円増加したことに加え、棚卸資産が43億9千3百万円増加したことや、建設仮勘定が31億8千8百万円増加したことにより、前連結会計年度末に比べ4億6千3百万円増加し、2,885億6千万円となりました。

負債につきましては、賞与引当金が39億8千6百万円減少したことにより、前連結会計年度末に比べ49億8千万円減少し、950億1千4百万円となりました。

また、純資産は前連結会計年度末に比べ54億4千3百万円増加し、1,935億4千5百万円となりました。この結果、当中間連結会計期間末の自己資本比率は66.6%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ6億6千7百万円増加し、223億2百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、126億1千3百万円の収入（前年同期は138億2千7百万円の収入）となりました。これは主として、税金等調整前中間純利益95億7千9百万円（非キャッシュ項目である持分法による投資利益23億1千3百万円を含む）に加え、売上債権の減少による収入175億6千万円などによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、69億7千7百万円の支出（前年同期は71億4千7百万円の支出）となりました。これは主として有形固定資産の取得による支出69億8千5百万円などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、55億5千5百万円の支出（前年同期は49億1千1百万円の支出）となりました。これは主として配当金の支払額43億9千7百万円などによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期通期の連結業績予想につきましては、前回（2025年5月14日）発表予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年 3 月 31 日)	当中間連結会計期間 (2025年 9 月 30 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,267	22,675
受取手形、売掛金及び契約資産	45,935	29,116
電子記録債権	4,203	4,041
棚卸資産	53,419	57,813
その他	3,826	4,543
貸倒引当金	△9	△6
流動資産合計	129,643	118,184
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	24,181	24,346
機械装置及び運搬具 (純額)	19,373	19,972
工具、器具及び備品 (純額)	2,403	2,250
土地	15,018	15,138
建設仮勘定	12,179	15,368
その他 (純額)	68	58
有形固定資産合計	73,224	77,134
無形固定資産		
のれん	69	54
その他	2,694	2,276
無形固定資産合計	2,763	2,331
投資その他の資産		
投資有価証券	63,328	72,611
退職給付に係る資産	14,502	14,768
繰延税金資産	2,082	1,018
その他	2,554	2,512
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	82,465	90,909
固定資産合計	158,454	170,375
資産合計	288,097	288,560

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年 3 月 31 日)	当中間連結会計期間 (2025年 9 月 30 日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,045	15,712
電子記録債務	3,680	1,488
短期借入金	26,913	24,401
未払法人税等	1,797	1,241
賞与引当金	5,798	1,811
その他	6,674	5,807
流動負債合計	61,910	50,463
固定負債		
長期借入金	23,325	27,450
繰延税金負債	10,675	13,049
退職給付に係る負債	1,270	1,193
環境対策引当金	14	13
その他	2,799	2,843
固定負債合計	38,083	44,551
負債合計	99,994	95,014
純資産の部		
株主資本		
資本金	29,166	29,166
資本剰余金	24,823	24,836
利益剰余金	124,566	126,946
自己株式	△3,191	△5,816
株主資本合計	175,365	175,134
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,398	15,464
繰延ヘッジ損益	△39	△106
為替換算調整勘定	△999	820
退職給付に係る調整累計額	1,059	940
その他の包括利益累計額合計	11,419	17,118
非支配株主持分	1,317	1,293
純資産合計	188,102	193,545
負債純資産合計	288,097	288,560

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月 30 日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月 30 日)
売上高	67,079	67,069
売上原価	47,618	46,438
売上総利益	19,460	20,631
販売費及び一般管理費	12,382	13,577
営業利益	7,077	7,053
営業外収益		
受取利息	87	61
受取配当金	1,025	494
持分法による投資利益	868	2,313
為替差益	—	197
その他	365	273
営業外収益合計	2,347	3,340
営業外費用		
支払利息	202	301
為替差損	610	—
その他	248	349
営業外費用合計	1,060	651
経常利益	8,364	9,742
特別利益		
固定資産売却益	—	376
投資有価証券売却益	1,158	0
特別利益合計	1,158	377
特別損失		
減損損失	25	—
災害損失	93	—
工場閉鎖損失	—	229
投資有価証券売却損	9	—
固定資産廃棄損	301	305
その他	5	5
特別損失合計	435	540
税金等調整前中間純利益	9,087	9,579
法人税、住民税及び事業税	932	1,108
法人税等調整額	1,813	1,667
法人税等合計	2,745	2,776
中間純利益	6,341	6,803
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失 (△)	△5	9
親会社株主に帰属する中間純利益	6,346	6,793

(中間連結包括利益計算書)

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	6,341	6,803
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,425	4,065
繰延ヘッジ損益	4	4
為替換算調整勘定	△419	773
退職給付に係る調整額	△180	△119
持分法適用会社に対する持分相当額	15	1,034
その他の包括利益合計	△2,004	5,757
中間包括利益	4,337	12,560
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	4,380	12,492
非支配株主に係る中間包括利益	△42	67

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月 30 日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月 30 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	9,087	9,579
減価償却費	3,888	4,025
のれん償却額	15	15
減損損失	25	—
持分法による投資損益 (△は益)	△868	△2,313
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4,414	△3,989
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4	△3
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△429	△266
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△16	△77
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	△238	△0
受取利息及び受取配当金	△1,113	△556
支払利息	202	301
固定資産廃棄損	301	306
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,149	△0
売上債権の増減額 (△は増加)	18,862	17,560
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△7,409	△4,091
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,667	△4,077
その他	△902	△2,226
小計	13,169	14,184
利息及び配当金の受取額	1,087	556
利息の支払額	△200	△296
法人税等の支払額	△228	△1,831
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,827	12,613
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,405	△6,985
有形固定資産の売却による収入	1	400
無形固定資産の取得による支出	△9	△75
投資有価証券の取得による支出	△63	△47
投資有価証券の売却による収入	1,455	1
関係会社株式の取得による支出	△6	△56
貸付けによる支出	△50	△1
貸付金の回収による収入	2	10
有形固定資産の除却による支出	△274	△551
その他	△796	327
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,147	△6,977
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△4,000	1,000
長期借入れによる収入	4,800	6,000
長期借入金の返済による支出	△2,312	△5,387
配当金の支払額	△3,296	△4,397
自己株式の取得による支出	△1	△2,657
非支配株主への配当金の支払額	△93	△91
その他	△8	△21
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,911	△5,555
現金及び現金同等物に係る換算差額	△388	586
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,379	667
現金及び現金同等物の期首残高	22,187	21,634
現金及び現金同等物の中間期末残高	23,566	22,302

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	中間連結 損益計算 書計上額 (注) 2
	ケミカル マテリアル	アグリ ビジネス	トレーディ ング&ロジ スティクス	エンジニア リング	エコソリュ ーション			
売上高								
外部顧客への 売上高	17,747	16,732	20,884	7,062	4,653	67,079	—	67,079
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	7,070	30	4,790	1,572	435	13,898	△13,898	—
計	24,817	16,762	25,674	8,634	5,088	80,977	△13,898	67,079
セグメント利益	3,441	1,042	1,288	933	259	6,965	112	7,077

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	中間連結 損益計算 書計上額 (注) 2
	ケミカル マテリアル	アグリ ビジネス	トレーディ ング&ロジ スティクス	エンジニア リング	エコソリュ ーション			
売上高								
外部顧客への 売上高	17,942	19,254	21,175	4,390	4,307	67,069	—	67,069
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	7,832	42	3,591	2,869	493	14,828	△14,828	—
計	25,774	19,296	24,766	7,259	4,800	81,898	△14,828	67,069
セグメント利益	3,161	1,784	1,290	706	127	7,070	△16	7,053

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの区分方法の変更)

前連結会計年度より、エコソリューションセグメントにおいて、利益の管理区分の変更により、従来「ケミカルマテリアル」「調整額」に含まれていた日曹金属化学株式会社に関連する項目を「エコソリューション」に含めております。

なお、前中間連結会計期間のセグメント情報は、変更後の区分方法に基づき作成したものを開示しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

3. 補足情報

連結決算概要

1. 連結業績

(単位: 百万円)

	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	増減	2026年3月期 (通期予想)	増減 (対前期)
売上高	67,079	67,069	△9	148,000	△7,199
営業利益	7,077	7,053	△23	13,200	△2,863
経常利益	8,364	9,742	1,378	16,800	△2,729
親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益	6,346	6,793	446	13,300	△1,711

2. セグメント別 連結売上高・営業利益

(単位: 百万円)

		2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	増減	2026年3月期 (通期予想)	増減 (対前期)
ケミカルマテリアル	売上高	17,747	17,942	195	37,500	1,057
	営業利益	3,441	3,161	△279	4,900	△1,174
アグリビジネス	売上高	16,732	19,254	2,522	50,000	△3,588
	営業利益	1,042	1,784	742	4,100	△1,015
トレーディング& ロジスティクス	売上高	20,884	21,175	290	43,200	381
	営業利益	1,288	1,290	1	2,200	△217
エンジニアリング	売上高	7,062	4,390	△2,671	7,800	△5,338
	営業利益	933	706	△227	1,620	△748
エコソリューション	売上高	4,653	4,307	△345	9,500	287
	営業利益	259	127	△132	180	80
調整額	売上高	—	—	—	—	—
	営業利益	112	△16	△129	200	211
合計	売上高	67,079	67,069	△9	148,000	△7,199
	営業利益	7,077	7,053	△23	13,200	△2,863

(注) ・2025年3月期より、エコソリューションセグメントにおいて、利益の管理区分の変更により、従来「ケミカルマテリアル」「調整額」に含まれていた日曹金属化学株式会社に関連する項目を「エコソリューション」に含めております。

・2025年3月期中間期実績は、新しいセグメント区分に組み替えた場合の参考値であります。

3. 主要指標

	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	増減
為替レート (円/ドル)	151.6	145.8	△5.8
為替レート (円/ユーロ)	168.0	169.2	1.2
設備投資額 (百万円)	2,574	5,563	2,989
減価償却費 (百万円)	3,888	4,025	137
研究開発費 (百万円)	2,638	2,946	307
1株当たり中間純利益 (円)	115.24	124.10	8.86
総資産 (百万円)	282,596	288,560	5,964

(注) 当社は、2024年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり中間純利益」を算定しております。